

船舶事故調査報告書

平成22年6月3日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）
委員 山本 哲 也
委員 根本 美 奈

事故種類	乗船者死亡
発生日時	不明（平成21年8月18日 11時50分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船が発見された場所は、島根県邑南町の江の川の三国橋上流400m付近 広島県三次市芝坂368.4m三角点から真方位266°600m付近（概位 北緯34°51.4′ 東経132°42.6′）であった。）
事故調査の経過	平成21年8月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての乗船者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	川舟 船名なし、総トン数なし なし、個人所有 8.4m×1.1m×約0.3m、木 機関なし、進水不明
乗組員等に関する情報	乗船者A 男性 80歳 健康状態は良好であった。 乗船者B 女性 71歳 健康状態は良好であった。
死傷者等	死亡 2人（乗船者A、乗船者B）
損傷	なし
事故の経過	本船は、乗船者A及び乗船者Bが乗船し、鮎たて網漁のため、平成21年8月17日夜間（時刻不明）、三国橋上流700m付近の江の川の係留地を出発した。 本船は、18日11時50分ごろ三国橋上流400m付近の岩に、無人で乗り揚げているのが発見された。 警察及び消防により乗船者の捜索が行われ、19日10時30分ごろ、本船乗揚場所の約5.4km下流で、乗船者A及び乗船者Bが発見され、いずれも溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風速 1.8m/s 川の水位：ほぼ平水状態
その他の事項	乗船者A及び乗船者Bは、発見されたとき、いずれも救命胴衣を着用しておらず、また、ロープの一端をそれぞれの腰に巻いて体を結んでいた。 乗船者Aが履いていたゴム長靴には滑り止めのロープが巻かれていた。 漁に使用する魚網が船内に残されていた。

	<p>乗揚場所付近の水深は、乗船者Aの腹部くらいで、自宅のある島根県側の川岸まで歩いて川を渡ることができたが、流れが速かった。</p> <p>本船の鮎たて網漁は、網の高さが約1.2m、長さが約50m及び重さが約15kgあり、夜中の11時ごろ川の流れに直角に網を入れ、翌朝の04時ごろに揚げていた。乗船者A及び乗船者Bは、互いの身体をロープで結んだ状態で鮎漁を行うことはなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>死因は、乗船者A及び乗船者Bのいずれも溺死と検案された。</p> <p>本船は、係留地を出発したのち、岩に乗り揚げたものと考えられるが、乗揚げに至った状況については明らかにすることができなかった。</p> <p>乗船者A及び乗船者Bは、本船が岩に乗り揚げたため、下船して川に入って流された可能性があると考えられるが、流された状況については明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、江の川の三国橋付近において岩に乗り揚げた際、乗船者2人が下船して川に入り、流されたため、発生した可能性があると考えられる。</p>	